

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の432億1,893万4千円に比べ、33億6,051万5千円、7.8%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会 計 名	平成27年度 当初予算額 (A)	平成26年度 当初予算額 (B)	比 較	
			増 減 (A) - (B)	伸 び 率 (A) - (B) / (B)
病 院 事 業	7,321,954	8,803,679	△1,481,725	△16.8
水 道 事 業	15,847,071	16,190,004	△342,933	△2.1
工業用水道事業	12,378,750	12,628,869	△250,119	△2.0
電 気 事 業	4,310,644	5,596,382	△1,285,738	△23.0
合 計	39,858,419	43,218,934	△3,360,515	△7.8

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、こころの医療センター、一志病院及び指定管理者制度を導入した志摩病院の3病院を管理運営し、県民の皆さんの健康保持と医療水準の向上に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 836床

(イ) 患者数

	年 間	1日平均
入院患者数	206,606人	564人
外来患者数	167,721人	690人

イ. 収益的収支 収入 5,526,262千円 資本的収支 収入 1,551,578千円
支出 5,408,506千円 支出 1,913,448千円

収益的収入は、入院収益、外来収益等の医業収益が29億1,277万円、他会計補助金、長期前受金戻入、負担金等の医業外収益が26億1,349万2千円で、合わせて55億2,626万2千円を計上しています。

また、収益的支出は、給与費、材料費、経費、減価償却費等の医業費用が51億9,284万5千円、支払利息等の医業外費用が2億1,566万1千円で、合わせて54億850万6千円を計上しています。

これらの収支見込みにより、平成27年度の経常収支は、1億1,775万6千円を計上しています。

次に、資本的収入は、企業債3億8,090万円、国庫補助金3,800万円、県費負担金7億5,867万8千

円など、合わせて15億5,157万8千円を計上しています。

また、資本的支出は、建設改良費4億3,768万円、企業債償還金11億1,856万8千円など、合わせて19億1,344万8千円を計上しています。

ウ. 平成27年度の事業運営

こころの医療センターにおいては、県内の精神科医療の中核病院としての高度・先進医療の取組などを、一志病院においては、家庭医を中心とした多職種連携による地域医療の取組などを、また志摩病院においては、指定管理者による運営のもと、志摩地域における中核病院として診療体制の一層の回復・充実などを推進し、それぞれの県立病院に求められている役割・機能等を十分に踏まえつつ、県民の皆さんに安全で良質な医療が提供できるよう努めていくとともに、引き続き経営改善に取り組んでいきます。

(2) 水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市5町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量139,850m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 72,966,608m³

1日平均給水量 198,279m³

イ. 収益的収支	収入	9,631,682千円	資本的収支	収入	1,493,897千円
	支出	9,469,466千円		支出	6,377,605千円

収益的収入は、給水収益86億8,085万7千円とその他営業収益を合わせた営業収益86億8,445万7千円及び長期前受金戻入8億3,978万2千円等の営業外収益9億4,722万5千円です。

収益的支出は、人件費、委託料、減価償却費等の営業費用85億3,276万4千円と支払利息等の営業外費用9億3,470万2千円が主なものです。

以上の結果、3,302万8千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、一般会計出資金10億6,239万3千円と工事受託金4億3,150万4千円です。

資本的支出は、中勢水道改良事業等の建設改良費27億4,464万8千円と企業債償還金36億3,295万7千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、中勢水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備及び改良事業	H27	68,053	68,053	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H27	871,063	871,063	既設施設の改良
中勢水道改良事業	H27	1,264,062	1,264,062	既設施設の改良
南勢水道改良事業	H27	480,560	480,560	既設施設の改良

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）及び松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行います。

ア. 業務の予定量

(ア) 給水会社数	93社
(イ) 年間総給水量	206,923,604m ³
1日平均給水量	565,365m ³

イ. 収益的収支	収入 6,090,734千円	資本的収支	収入 1,470,423千円
	支出 5,880,605千円		支出 6,498,145千円

収益的収入は、給水収益53億7,124万4千円とその他営業収益を合わせた営業収益56億1,859万1千円と長期前受金戻入4億5,219万8千円等の営業外収益4億7,214万3千円です。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用55億957万5千円と支払利息等の営業外費用3億6,903万円が主なものです。

以上の結果、3,403万4千円の当期純利益を計上しています。

次に、資本的収入は、一般会計出資金11億9,199万9千円や補助金2億7,000万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費43億3,564万8千円と企業債償還金21億6,249万7千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。